

コラム

易感染患者と免疫不全患者の違い

易感染状態と免疫低下状態（compromised host とimuno compromised host）

健康で免疫状態が通常のヒトでも、皮膚のバリアーが破綻した状態を作ると、感染症を引き起こす。例えば、熱傷や怪我をして消毒等の処置を怠ると誰でも感染症を引き起こす。免疫が、低下していなくても易感染状態があれば感染症は起こってしまう。医療行為においては、外科的侵襲、体内へのカテーテル留置処置が易感染状態に該当する。

易感染状態：皮膚のバリアー破綻、体内に長期留置した医療機器がある状態

免疫低下状態：免疫機能が低下した状態、高齢者、免疫抑制剤投与患者、AIDS患者、造血幹細胞移植手術を受けた患者等

極度の免疫低下患者用の食事は、加熱食を主体に提供する。滅菌食（高圧蒸気滅菌）は、必要ない。



食品は床に直置きしない。可動式の棚で清掃が容易である。
キングジョージ病院（イギリス）